

議会のあり方調査特別委員会 政策等検討分科会 記録	
開 会 年 月 日	令和8年1月30日
開 会 時 刻	午後2時01分
閉 会 時 刻	午後3時13分
出 席 委 員 名	◎辻 孝記 ○青沼陽一郎 杉村 剛 大西要一
	中村 功 上村和生 楠木宏彦 宿 典泰
欠 席 委 員 名	なし
署 名 者	—
担 当 書 記	奥野進司
協 議 案 件	1 予算・決算審査のあり方について
	・審査形態・審査方法について
説 明 員	奥野議事係長、森田書記

会議の概要

辻会長開会を宣告し、直ちに会議に入り、「予算・決算審査のあり方について」を議題とし、各会派の意見を聞き取り、協議の後、今年3月の予算審査、9月の決算審査については分科会方式を採用することを確認し、議会のあり方調査特別委員会に報告・提案することを決定した。

なお、協議内容は以下のとおりです。

協議の内容

1 予算・決算審査のあり方について

・審査形態・審査方法について

前回（1月15日）の会議に引き続き「審査形態・審査方法について」各会派での意見を聴取したところ、各会派とも前回同様の意見であった。その後、協議を行い、会長から、3月定例会に向け早急に決める必要があること、意見が分かれていること、改選で11名の新議員が加わったことを考え、今後、(1)分科会方式、(3)役選時にグループ分けする方式の両方を経験することも含めて検討していく提案があり、検討していくことに異議がないことを確認した。

そのほか、青沼委員から、分科会審査での委員外議員の活用について提案があり、審査形態・審査方法については、今年3月定例会の予算審査、9月定例会の決算審査は分科会方式を引き続き実施することを確認し、会議規則で規定されている委員外議員発言の制度を活用することを確認した。

【発言】

- ・上村委員（勢風会）……（前回から変わらず）(1)分科会方式がよい。
- ・中村委員（ネクスト）……（前回から変わらず）(1)分科会方式がよい。
- ・楠木委員（日本共産党）……（3）役選時にグループ分けする方式がよい。分科会方式は、所属の常任委員会に限られ、1人会派であると、ほかのところに關し発言ができないことが大きな問題である。今回は新議員が多く、市政全体を見る(3)が望ましい。
- ・大西委員（未来創成）……（前回から変わらず）(1)分科会方式がよい。
- ・宿 委員（政友会）……（3）役選時にグループ分けする方式がよい。できるだけ多くの人数で審査を行い、決算であれば、次の予算に結びつく状況にしたい。今までのやり方であると非常に課題が多い。
- ・青沼副会長（未来伊勢研究会）…（3）役選時にグループ分けする方式がよい。予算・決算審査のあり方について、継続して審査をしてきて、あえて違う形を取っていくことも必要。
- ・辻 会長（公明党）……（3）役選時にグループ分けする方式がよい。

参考（青沼副会長から発表）

- ・市民の声： 全議員が予算決算に一定の責任を持つ形がより明確になること、審査過程における情報の偏りが生じにくいこと、市民に、分かりやすく伝えやすいことといったことから、(4)全議員で審査を行う方式がよい。

- ・みらいをつくる会：(3)役選時にグループ分けする方式がよい。分科会方式を取り入れるということであれば、ほかの分科会に所属している議員から、その予算について意見を申し述べる機会をいただきたい。
- ・参政党：(4)全議員で審査を行う方式がよいが、ほかの案を受け入れないということではない。

上記署名する。

令和8年1月30日

会 長